

信篤(SHINTOKU)

いちかわ

市川市議会議員 松永おさみ

後援会だより 第 9 号

事務所/原木1-22-16 電話・FAX 047-327-1470

<http://www.ryokufukai.net/>

六月
議会

信篤二俣地区の道路 公園・治水を質す!

市川市議会六月議会は、六月九日から二十二日までの会期十四日間にわたり開かれました。

市長提案の議案十七案を原案通り可決し、請願一件を採択、陳情二件を不採択とし、意見書五件を可決して閉会しました。

松永おさみは一般質問に登壇し、原木のタクト跡地に建設されるホームセンターに隣接して、信篤・二俣地区のまちづくり、都市計画等々の問題を質しました。その概要をご報告します。

H・Cコーナン市川店本決まり

原木のタクト跡地の利用計画が決まり、米春三月のオープンに向けホームセンターの建設工事が進んでいます。去る五月十二日建設計画説明会が熱心に質疑等が行なわれ、約百二十名の方が出席して、敷地総面積一八三、四八一㎡、店舗面積一〇、七八七㎡、進出業種―家庭用品ホームセンター―、営業時間―朝七時―夜十一時まで―、駐車場―千六百台収容―が、松永が総括して質疑を行いました。なお、説明会席上で、松永が総括して質疑を行いました。なお、説明会席上で、松永が総括して質疑を行いました。

重要、雇用について地元の人を優先採用されるよう要望、会社側も約三百人を予定して、生活道路に通過考るとのこと。交通問題は、自治会等周辺の方々の。今後開業後も、定期的な自治会等周辺の方々の。自治会長の了承を取り付けた。ご意見、苦情等は、解決に取組んで参ります。一緒に問題の規定による意見書を提出しました。その内容は裏面の最後に原文のまま掲載してあります。

☆六月議会の一般質問

信篤・二俣地区のまちづくりについて

質問『都市計画マスタープランの指針と現実をどのように捉えているのか』

答弁『農地や教育施設、流通業務施設、資材置場等が混在している状況を踏まえ、憩い、学ぶ環境づくりとともに、基盤施設の整った良好な土地利用を誘導する。湾岸道路沿いは、工業、流通拠点として業務の振興を図る。』

質問『タクト跡地利用や原木西浜の土地区画整理事業が進む中で、地域の現状をどのように認識しているか』

答弁『大規模な住宅の進出を避けるため、事業者・県に働きかけコーナン市川店の出店計画となつた。又、区画整理地区計画では、住居系や福祉教育系の建設を規制して、流通業務系の土地利用を誘導している。』

質問『今後、調整区域の土地利用をどのように誘導して、新たなまちづくりを進めていくのか』

答弁『原木・二俣の湾岸道路沿いは、工業流通業務地の環境を活かしたスポーツ・レクリエーション活動となる土地利用、高谷・原木の北側部分は教育・福祉施設が立地しているため、適切な事業手法により都市基盤や生活環境を整え、鉄道の利用性を活かした、調和のとれた市街地形成の土地利用を考えている。』

質問『都市マスタープランの見直しは』

答弁『五年毎に、環境変化等の状況を確認して、見直しの必要性を見極めたい。』

質問『道路問題について』

答弁『外環道路の用地買収、工事の進捗状況とモデル道路の整備の考えは』

裏面に続く

答弁 『用地取得は、県内全体では八十三%、市川区間が八十%、地域別で田尻、高谷区間が八十二%、高谷から実施した北部・南部の工事用十五年度から概ね完成している。高谷JICの道路整備は、橋脚部の下部工事では、七十三基ある橋脚、橋台の内二十六基が完成している。モデル道路は高谷地区に三つのタイプが整備される。』

質問 『妙典架橋と都市計画道路三・四・十三号の新設問題について』
答弁 『妙典と高谷を結ぶ約一km、橋梁幅十四・五m、二車線として、県が事業を進めており、妙典地区で約九十%の用地を確保。二俣高谷線三・四・十三号は、外環道と京葉道路原木ICを結ぶ一・六八〇m幅員二十mの道路は今後測量を行い、本年度国の補助も決まったので、着実な進展が図られると考える。』

質問 『二俣の太鼓橋北側に接続する道路の新設について』
答弁 『北側の道路は、地域の悲願と聞いています。権者の意向確認、交通量調査を行い、関係機関と調整する。歩行者用道路は船橋市内につき船橋市へ働きかけを行い、県葛南地域整備センターにも協力を願っている。』

質問 『公園・スポーツ広場の増設について』
答弁 『信篤地域の公園面積は、市平均の三分の一しかない。高谷の旧法務局跡地の公園化と公園の増設計画は、七五〇㎡の公園化を引き続き協議していき、今年度内の整備開業を目標としている。』

質問 『田尻少年広場の代替施設の確保は』
答弁 『高谷三丁目地の力を借りて、野球の出来る地域を求めていきたい。』

信篤地区の治水対策について

質問 『大雨のつど洪水が発生する地域への対応と洪水ハザードマップの策定は』
答弁 『抜本解消に向け、県が行う高谷川の改修、排水機場の整備調整を行い、これが市でも雨水整備に着手する予定。マップの策定については今後具体的検討を進めるが、現在は窓口で問合せている。』

質問 『高谷中東側の排水路の整備策は』
答弁 『整備の優先度と周辺地域の市街化の状況からして、今後の検討課題とさせていたたく。』

クリーンセンター 温泉掘削終了

開設が待たれる余熱利用の核となる、温泉を掘る工事が、四月二十一日に着工され順調に進行、一日二十m掘るので予定の千二百m掘るのにちようど二か月かかりました。あとは成分分析結果の発表が待たれます。余熱利用の温水施設（プール・トレーニングルーム等含む）のオープンは、来年の十一月の予定です。

信篤二俣地区連合自治会長と松永おさみが連名で県知事あて提出した意見書の写し (11自治会長の署名簿を添えて)

- (仮称) ホームセンター・コーナン市川店
1. 道路交通問題
 - (ア) 渋滞する車輛対策の徹底
 - (イ) 周辺生活道路への車輛進入防止の徹底
 - (ウ) ガードマンの適正配置・巡回パトロールの実施
 - (エ) 案内、注意看板の設置
 2. 雇用対策
 - (ア) 地元住民優先雇用
 - (イ) 高齢者、障害者の積極的雇用
 3. 地域との融合を図りたい
 - (ア) 治安、防犯対策の徹底に配慮し、関係する自治会との協力体制の確立
 - (イ) 周辺住民の生活環境を守ること
 - (ウ) イベント等の開催、地場物産の優先的採用
 4. 影響を受ける地元小売業者への支援策の強化
 5. 定期協議の実施
 - (ア) 地元自治会、住民との継続的、定期的協議の場を持つこと自治会からの要望、要請を最大限尊重し、誠意を持って話し合いの場に着かれない